

4 温室効果ガスの排出の状況

計画期間 3 年度目（令和 6 年度）の温室効果ガス排出の状況

①エネルギー起源二酸化炭素の排出量		2,393	t-CO ₂
（温室効果ガス換算）	②非エネルギー起源二酸化炭素（③を除く。）		t-CO ₂
	③廃棄物の原燃料使用に伴う非エネルギー起源二酸化炭素		t-CO ₂
	④メタン		t-CO ₂
	⑤一酸化二窒素		t-CO ₂
	⑥ハイドロフルオロカーボン類		t-CO ₂
	⑦パーフルオロカーボン類		t-CO ₂
	⑧六ふっ化硫黄		t-CO ₂
	⑨三ふっ化窒素		t-CO ₂
	⑩エネルギー起源二酸化炭素（発電所等配分前）		t-CO ₂
	温室効果ガス総排出量（①～⑩合計）		2,393

5 温室効果ガス排出量の抑制に係る目標の達成状況

（1）温室効果ガス排出量の抑制目標の達成状況

温室効果ガスの抑制の目標設定方法	原単位排出量
------------------	--------

項目	基準年度の実績		目標		計画期間の実績		
	令和 3 年度		令和 6 年度		令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
温室効果ガス総排出量		t-CO ₂		t-CO ₂		t-CO ₂	t-CO ₂
削減率（対 基準年度）			%		%		%
温室効果ガスみなし総排出量						t-CO ₂	t-CO ₂
削減率（対 基準年度）					%		%

項目	基準年度の実績		目標		計画期間の実績			
	令和 3 年度		令和 6 年度		令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	
原単位あたりの排出量	366.7	kg-CO ₂ / 百万円	355.7	kg-CO ₂ / 百万円	328.7	kg-CO ₂ / 百万円	281.4	kg-CO ₂ / 百万円
削減率（対 基準年度）			3.0 %		10.4 %		23.3 %	
原単位あたりのみなし排出量						kg-CO ₂ / 百万円	kg-CO ₂ / 百万円	
削減率（対 基準年度）					%		%	

（2）進捗状況に対する自己評価（目標の達成／非達成の理由）

<p>目標値に対しては達成中。</p> <p>①令和5年度まではいかないが、基準年度に対して令和6年度の売上が伸びたこと。</p> <p>②継続的な工程改善により、エネルギー使用量の抑制に至ったこと。</p>
--

備考1 温室効果ガスの排出の状況のうち、エネルギー起源二酸化炭素を除く温室効果ガスの排出量については、温室効果ガスの種類ごとに3,000トン以上の場合に限り計上してください。

備考2 温室効果ガス総排出量とは、エネルギー起源二酸化炭素の排出量と、種類ごとに3,000トン以上の温室効果ガスの排出量の合算をいいます。

備考3 原単位あたりの排出量とは、事業活動の特性を的確に示すものとして事業者自らが選択する工場等の床面積、製品の出荷量その他の指標になる単位量あたりの温室効果ガス排出量をいいます。

備考4 温室効果ガスみなし総排出量とは、温室効果ガス総排出量に対し、クレジット等の環境価値に相当するもの及び再生可能エネルギー等の利用による温室効果ガスの削減量等を調整したものをいいます。

(2) 再生可能エネルギー及び未利用エネルギーの利用の状況

ア 計画期間 3 年度目 (令和 6 年度) における利用の状況

導入年度	設備等の種類	概要 (規模、性能、発生エネルギー量等)

イ 上記のうち、他のものに供給した電力及び熱

区分	再生可能エネルギーの種類	温室効果ガス換算量 (みなしの削減量)
電力		t-CO ₂
熱		t-CO ₂

(3) 環境価値 (クレジット等) の活用の状況

計画期間 3 年度目 (令和 6 年度) におけるクレジット等の利用

クレジット等の種類	創出地	温室効果ガス換算量 (みなしの削減量)
		t-CO ₂
		t-CO ₂
		t-CO ₂
		t-CO ₂

(4) みなしの排出量の算定に利用した温室効果ガス換算量 (みなしの削減量) の合計

t-CO ₂

(5) その他の地球温暖化対策に係る措置の実施状況

<ul style="list-style-type: none"> ・廃棄物のリサイクル推進 ⇒今年度も、引き続き金属回収に力を入れた。 ・従業員への環境教育を実施する。 ⇒廃棄物の分別方法などを再度周知すべく、改めて教育や掲示を実施。 ⇒新入社員や中途入社社員に重点的に実施。 ・環境デーなごやの「パートナーシップ事業」に継続して参入する。 ⇒【新海池クリーンアップキャンペーン】と題し、清掃活動を実施した。

(6) 「環境保全の日」等に特に推進すべき取組の実施状況

<p>環境に対する意識の啓蒙</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎月8日を目安とし、環境に関する情報を、WEB掲示板等で発信する。
